

児童発達支援・放課後等デイサービス コモド琴似

2018年度 自己評価表

1. 事業所における自己評価表（放課後デイサービス）
2. 事業所における自己評価表（児童発達支援）
3. 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：平成31年3月1日

事業所名 コモド琴似

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題・工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			小学生と就学前の子供たちを分けての活動等工夫しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			適切な人員を配置しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	危険がないよう環境整備を行っています。バリアフリー化はされていませんが、職員が注意しながら対応しています。現状でバリアフリー化が必要な児童の受け入れはありません。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間ノートを活用して情報を共有して周知の徹底を図っています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の意向等周知徹底し話し合いをし改善しています。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開していきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			相談室などと話し合いを持つ機会を設けていますが評価をお願いしていません。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修や外部研修に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様にも意向などシートに記入していただき、細やかなニーズを把握できるようにしています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを活用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当者が立案し、全体で共有しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援計画に沿ったプログラムを組むように週に1度話し合いを設けています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			季節行事を入れたり、社会勉強の一環として買い物やおやつ作りなど取り入れて入れています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さんの現状を把握・分析し、それに応じて個別活動と集団活動を組み合わせています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日に支援内容等の打ち合わせを行っています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		記録を書いている時や終わった後に話し合いを行っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		その日の活動など正しく書いていますが、その子の必要な支援に対しての記述がまだ足りないので更に話し合いを重ねていきたいと思います。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に行っています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインに合わせた支援をと考えています。特に家族への支援も重視しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		送迎時の対応に関しては保護者を通して行っています。学校とはその児童の担任の先生やミニ児の先生と支援内容や様子を情報交換しています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療ケアはしていません。現在、医療的ケアが必要な子どもがいません。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		支援計画等共有しています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当者がいません。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	専門機関との連携はありません。今後機会を設けていきたいと思います。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		児童会館を利用したりすることがありますが、事業所として長期休み以外での時間確保が難しいです。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		現在利用しているのは幼・小学生のためしていません。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートや送迎時、また電話や面談をして情報交換し共有しています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者会、見学会等で保護者の悩み等について話し合い交流をもっています。また、月1回お便りで療育について情報提供をしています。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明させて頂いています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談を受けた時はその都度アドバイスなど支援をさせて頂いています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会にできるだけ多くの方に参加して頂けるように日程調整しています。また、見学会では同じ年齢のお子さんの方を同じ日程にして関係を持てるように工夫しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		できるだけ迅速な対応を心がけています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		「コモドだより」を月1回出し、行事予定や体制・療育についてお知らせしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		使い終わった資料などシュレッターにかけるなどして管理を徹底していきます。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者とは連絡ノートなど利用しています。視覚優位な子には絵カードなど利用しています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後、事業所で行事等を企画し地域の方を招待する等検討していきたいと考えています。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルは作っており、保護者にも説明配付しています。今後職員にさらに内容を周知し、徹底していきます。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間スケジュールに組み込んで行っています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		日頃から話し合いをしていますが、定期的に研修の時間を作りたいです。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束はしていません。。今後やむを得ず行うことがあるときは保護者に十分に説明していきます。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者からの申し出のみとなっているため医師の指示書を見せていただくように働きかけていきます。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		実際にあった件については話し合いをしていますが、事例を今後研修に取り入れていきたいと思えます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：平成31年3月1日

事業所名 コモド琴似

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題・工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			小学生と就学前の子供たちを分けての活動等工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切な配置数です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			○	危険がないよう環境整備を行っています。バリアフリー化はされていませんが、職員が注意しながら対応しています。現状でバリアフリー化が必要な児童の受け入れはありません。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか			○	朝と帰りに掃除をして換気にも配慮しています。子どもの成長に伴い活動空間が狭いため場所を探しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間でノートを使って情報を共有しています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様の意向等周知徹底し話し合いをし改善しています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価を行い、公開していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による評価を行っていません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修や外部研修に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者様にもシートに記入していただき、細やかなニーズを把握できるようにしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに沿って支援計画を作成しています。家族支援の大切さを感じています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に沿った支援を意識して行っています。

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当の職員が立案し、他職員に周知しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節行事やクッキング・買い物などの活動を取り入れています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		その子に合わせた支援内容を立てています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前日に活動内容など確認し、当日も役割などの確認をしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		その日の振り返り、支援などのついて話し合いを設けています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録を後から見直し、モニタリング等で活用しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		必要に応じて話し合いを持ち支援内容の変更を掛けています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保護者を通して情報提供して頂いています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医療的ケアが必要なお子さんはいません。今後受け入れる予定もありません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医療ケアはしていません。現在、医療的ケアが必要な子どもがいません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		支援計画の提示と面談して情報交換し共有を図っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		支援計画の提示と面談して情報交換し共有を図っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		直接はありませんが保護者を通して受診した後は内容を書いたもののコピーを頂き療育に繋げています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		図書館や児童会館で交流する機会を作っています。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		現在利用しているのは幼・小学生のためしていません。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡ノートにて伝え、面談の際は課題など共通理解を図っています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者会、見学会等で保護者の悩み等について話し合い交流をもっています。また、月1回お便りで療育について情報提供をしています。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明をしています。また、利用者負担が変わる際も説明しています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか			必ず自宅か当事業者にて保護者と面談して説明をしています。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡ノートに書いている保護者にはノートに書いたり、また送迎時にアドバイス等させて頂いています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の時は保護者の方が話しやすい環境を作って各々話せるように工夫しています。また、見学会では同年代のお子さんの保護者が同じ日程に来れるように調整をしています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		できるだけ迅速な対応を心がけています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回コモドだよりを発行して、行事などお伝えしています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		使い終わった資料などをシュレッターにかけるなど今後も管理の徹底をしていきたいと思っています。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		聞く事より見る方が優位な子には絵カード等を使い視覚支援などしています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後、事業所で行事等を企画し地域の方を招待する等検討していきたいと思っています。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に行っています。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			健康調査票にて確認しています。また、変更の際は随時お知らせいただいています。その際は処方箋も頂いています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			保護者からの申し出のみとなっているため医師の指示書を見せていただくように働きかけています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成しています。リスクマネジメントの勉強会もしていく予定です。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			日頃から話し合いをしていますが、今後定期的に研修の時間を作っていきたいと思っています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束をしていません。今後やむを得ず行うことがあるときは保護者に十分に説明していきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

2018年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

コモド零似

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	6	1	小学生と未就学児を分けて活動するなど工夫をしています。今後、広い場所への移動等考えています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2	1	月1回の社内研修や、外部研修に積極的に参加し、専門性を高めていきたいと考えています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	10	1	危険がないよう、環境整備を行ってまいります。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス計画が作成されているか	19	0	0	保護者の方に意見書を作成していただくなどして、細やかなニーズを把握できるようにしています。
	⑤	支援計画はわかりやすく作成されているか	19	0	0	お子さんの現状を把握、分析し、わかりやすい支援計画を今後も作成していこうと思います。
	⑥	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	2	0	支援計画に沿ったプログラムを組めるように、週に1、2度職員で会議を行っています。
	⑦	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	9	7	地域の児童館や図書館などを利用の際、交流する機会があります。
保護者への説明等	⑧	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	引き続き丁寧な説明を心がけていきます。
	⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1	0	面談や保護者会、見学会を設定して情報交換を行い、共通理解を図っています。
	⑩	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1	0	できるだけ面談を行ってと思っていますが、お会いできないときには連絡ノートでさせていただいています。
	⑪	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	6	1	できるだけ面談を行ってと思っていますが、お会いできないときには連絡ノートでさせていただいています。できるだけ多くの方に参加していただけるように、日程調整をしていきたいと思っています。保護者間でこれからも関わりがもてるように工夫していきたいと思っています。
	⑫	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	5	0	できるだけ迅速に対応させていただいています。
	⑬	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2	0	また、子どもがノートを読めるようになり、今後、メール等考えていきたいと思っています。
	⑭	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	1	1	活動の節目等で更新していきたいと思っています。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	19	0	0	今後もより一層管理を徹底していきます。
非常時等の対応	⑯	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか	19	0	0	マニュアルを配布し周知させていただいています。
	⑰	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	4	0	定期的に行い、コモド通信にてお知らせさせていただいています。
満足度	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	幼稚園、学校の長期休み等にイベント等企画したり、子どもたちが安心できる場であるように努力していきたいと思っています。
	⑲	事業所の支援に満足しているか	18	1	0	今後も、保護者や児童のニーズを把握し、満足していただけるよう工夫・改善していきます。